



本県の繁殖雌牛の現状について

～栃木県家畜改良増殖計画から～

1 産肉能力

○繁殖雌牛の産肉能力に関する育種価向上値の目標数値

品種		枝肉重量 (kg)	脂肪交雑(BMSNo.)	歩留基準値
黒毛和種	現在	0 (47.3)	0 (2.25)	0 (2.11)
	目標(R17)	+5.2 (52.5)	±0 (2.25)	+1.7 (3.81)

●脂肪交雑は高位平準化し、枝肉重量・歩留まりなどに着目した改良を目指します。

2 繁殖性

○繁殖能力に関する目標数値

品種		初産月齢(ヶ月)	分娩間隔(ヶ月)
黒毛和種	現在	25.6	13.6
	目標(R17)	23.5	12.5

※目標については自然分娩牛を対象とする

●初産月齢の適正化・分娩間隔の短縮を目指し、遺伝的能力評価を活用した優良繁殖雌牛の選抜を推進します。

★飼養管理においては

- ① 確実な発情発見 ⇒ 朝夕の観察、活動量計などのセンサーを活用しましょう。
- ② 分娩後の栄養管理 ⇒ 親付けの場合、増飼により繁殖機能の回復を図りましょう。

3 体型

○繁殖雌牛の体型に関する目標数値(22か月齢時)

	体高 (cm)	体長 (cm)	胸囲 (cm)	胸深 (cm)	かん幅 (cm)
現在	128.6	148.1	182.0	66.3	46.4
目標(R17年)	130.0	151.2	183.4	67.1	46.6
差	1.4	3.1	1.4	0.8	0.2

●目標数値は全国和牛登録協会が定める発育標準+1σを目安としています。

★飼養管理においては

- ① 過肥にならないよう、配合飼料の給与量に注意しましょう。
- ② 前・中軀幅を大きくするため、育成期に良質乾草を給与し、粗飼料摂取量を確保しましょう。